



洗心

～日々新しく～

11月



ふるさと宮崎の魅力を たくさんの人に伝えたい

ここは福井市のショッピングセンターです。5年生の子どもたちが、買い物に訪れたお客さんに、ちらしを分けたり、タブレットで動画を見せたりしながら、ふるさと学習を通して学んだことを、一生懸命に伝えました。

希少な生き物が生息する自然の豊かさ、環境に配慮した有機栽培に取り組む農家の方々の工夫や努力……。田植えや稲刈りに汗を流し、生き物の観察や保護活動に取り組み、地域の方の熱い思いを直接お聞きしてきた子どもたちの胸には、「宮崎のよさを知ってほしい」という思いが育ちました。そして、それを自分たちの言葉や方法で伝えることができました。

この他に、子どもたちは約30秒の「ふるさとCM」を制作し、コンテストに応募しました。選ばれたCMは、2月に「ふるさとの学びフェア」会場のハピテラスで上映されます。

有機栽培

有機栽培は
人にも生き物にも優しく
安心・安全

有機栽培で作った
有機米「田んぼの天使」
とっても美味しいよ

環境にも優しい有機栽培
宮崎地区には、とっても貴重な生
き物がいるよ
ぜひ来てみてね

有機JASマーク

本物の有機米の証
このマークを探し
てみてね！

化学肥料を
使っていない

宮崎には、絶滅危種の
コウノトリ、アベサンショウウオ、
ハッチョウトンボがいるんだよ

越前町宮崎小学校5年生

学校教育目標「自ら学ぶ 共につくる」に向けて

1 主体的な学びづくり 2 創造的な学びづくり 3 成長を支える環境づくり

の三つを重点目標に、教育活動に取り組んでいます。今回は「1主体的な学びづくり」より、「カリキュラム・マネジメントによる教育課程の改善」の実践をお知らせします。

外国の人に 英語で伝えたいから

リアルな相手を前にして、自分の思いを伝える本物のコミュニケーション活動を。そんな願いをもとに、6年生の英語の授業を展開しました。

教科書では、世界の生き物が直面する問題に対してできることを考え、発表し合う内容です。例えば、ウミガメがレジ袋を飲み込んでしまうようなプラスチックごみ問題に対して、自分のごみはリサイクルするし、エコバックを使う、というようなアイデアを発表します。

6年生は総合的な学習のテーマを「アクション2025～より良いふるさとの未来に向かって～」と設定し、「田んぼの天使」井上さんのご協力のもと、ハッチョウトンボなど希少生物を観察したり、環境にやさしい有機肥料を作ったりしてきました。



ケーシー先生、これで伝わりますか？

物を観察したり、環境にやさしい有機肥料を作ったりしてきました。

そうして学んだ宮崎地区のすばらしさと、ふるさとのために自分たちができることを、12月に越前町を訪れるマレーシアの留学生に発表することにしました。マレーシアの公用語は主にマレー語ですが、英語も広く使用されています。英語なら、子どもたちの考えを、留学生に直接伝えることができます。例えば、



友達の発表に「いいね！」

Our treasure (宝) is tiny dragonflies. (トンボ)

They are very small and beautiful. But tiny dragonflies are in danger.

Pesticide (農薬) is a big problem.

I want to make a poster. Thank you.

のように、自分たちが使える英語表現を総動員し、ALTのケーシー先生の助けを借り、友達に聞いてもらいながら発表内容を考え、練習しました。

